

沖縄市の給与・定員管理等について

本市職員の給与については、市議会での給与条例、予算審議を通じて明らかにされています。
ここでは、主に市職員の給与の実態について、その概算をお知らせします。

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (平成30年1月1日現在)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	(参考) 平成28年度の人件費率
平成29年度	141,775人	68,218,261千円	1,278,657千円	7,401,866千円	10.9%	11.1%

(注) 人件費は、特別職に支給される給料・報酬等を含む額です。

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数 (A)	給与費				1人当たり 給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
平成29年度	884人	2,980,216千円	579,965千円	1,158,830千円	4,719,011千円	5,338千円

(注) 1、職員手当には、退職手当を含みません。
2、職員数は、平成29年4月1日現在の人数です。
3、給与費については、再任用職員(短時間勤務)の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいません。

(3) 職員の平均給料月額、平均年齢の状況

平成30年4月1日現在

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	297,300円	40.3歳
現業職	307,600円	46.1歳

(4) 職員の初任給の状況

平成30年4月1日現在

区分	初任給	
	区分	初任給
一般行政職	大学卒	179,200円
	高校卒	147,100円
現業職	高校卒	144,500円
	中学卒	136,500円

(注) 採用前に民間企業等の経歴がある場合は、加算されることがあります。

(5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

平成30年4月1日現在

区分	学歴	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
		一般行政職	247,686円	295,285円
現業職	大学卒	213,875円	247,525円	271,260円
	高校卒	202,675円 ^{※1}	-	294,675円 ^{※2}
	中学卒	-	-	-

(注) 1、経験年数とは、通常は採用後の年数を言いますが、採用前に民間企業等の経歴がある場合は、一定の換算方法により加算されています。
2、対象となる職員がない場合は、「ハイフン(-)」とし、3人以下の場合は、個人情報保護の観点から、経験年数に幅を持たせ平均を出しました。
(※1…8年~12年 ※2…18年~22年)

(6) 一般行政職の級別職員数の状況

平成30年4月1日現在

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な職務内容	部長	次長	次課長	課長	課長補佐	係長	主任	主事	-
職員数	10人	5人	25人	68人	159人	148人	90人	56人	561人
構成比	1.8%	0.9%	4.5%	12.1%	28.3%	26.4%	16.0%	10.0%	100%
参考 1年前構成比	1.8%	0.9%	4.3%	11.9%	27.0%	25.9%	17.8%	10.4%	100%

(注) 1、沖縄市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2、標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

(7) 期末・勤勉手当の状況

平成30年4月1日現在

6月期	2.125月分(1.075月分)
12月期	2.275月分(1.225月分)
計	4.4月分(2.3月分)

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

(8) 退職手当の状況

平成30年4月1日現在

退職手当	支給率	区 分	自己都合退職	定年・勤奨退職
		勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
		勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
		勤続35年	39.7575月分	47.709月分
		最高限度率	47.709月分	47.709月分
		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)	
		退職時の特別昇給	なし	
		1人当たり平均支給額(注)	703千円	17,467千円

(注) 退職手当の1人当たりの平均支給額は、平成29年度に退職した職員に支給された平均額です。

(9) 職員手当の状況

平成30年4月1日現在

区分	内 容		手当額(月額)	
主要 二 手 当	扶養手当	扶養親族(配偶者、22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子、60歳以上の父母等)のいる職員に支給されます。	配偶者 6,500円 子 10,000円 父母等 6,500円	※16歳年度初め~22歳年度末の場合加算5,000円
	住居手当	住居を借り受けている職員に支給されます。	最高支給額 27,000円	
	通勤手当	通勤距離が片道2km以上で、バス・自家用車等を利用している職員に支給されます。	【バス】運賃額45,000円までは運賃相当額、45,000円を超える場合は加算措置あり。支給限度額50,000円 【自家用車】距離に応じて2,300円~30,500円	
特殊勤務 手 当	職員全体に占める手当支給職員の割合		32.6%	
	支給対象職員1人当たり平均支給年額		52,305円	
	手当の種類		18種類	
	代表的な 手当の名称	支給額の多い手当	建築主事手当・固定資産評価員手当・社会福祉業務手当 保育所長手当・副園長手当	
多くの職員に 支給されている手当		消防活動手当・社会福祉業務手当・保育業務従事手当・税務手当		
時間外 勤務手当	(平成29年度決算)支給総額	222,208千円	支給職員1人当たり平均支給年額	257千円
	(平成28年度決算)支給総額	213,918千円	支給職員1人当たり平均支給年額	249千円

(注) 公営企業分は含みません。

(10) 特別職の報酬等の状況

平成30年4月1日現在

区分	給料月額等	期末手当支給割合		
給 料	市長	903,000円	6月期	1.575月分
	副市長	746,000円	12月期	1.725月分
	教育長・水道局長	674,000円	計	3.3月分
報 酬	議長	520,000円	6月期	1.575月分
	副議長	461,000円	12月期	1.725月分
	議員	433,000円	計	3.3月分

(注) 特別職の報酬等については、市内各界の代表者で構成する「特別職報酬等審議会」の意見を聴き、一般職とは別の条例で制定されます。

(11) 部門別職員数の状況

各年4月1日現在(単位:人)

部門	区分	職員数(人)		対前年 増減数
		平成29年	平成30年	
一 般 行 政 部 門	議 会	10	9	△1
	総 務	175	176	1
	税 務	60	61	1
	労 働	9	8	△1
	農林水産	19	19	0
	商 工	18	17	△1
	土 木	74	76	2
	民 生	178	183	5
	衛 生	42	42	0
	小 計	585	591	6
部 特 別 行 政 門	教 育	188	187	△1
	消 防	111	111	0
	小 計	299	298	△1
普通会計 計		884	889	5
会 公 計 営 部 企 門 業 等	水 道	50	50	0
	下 水 道	18	18	0
	そ の 他	54	54	0
	小 計	122	122	0
合 計		1,006	1,011	5

(注) 職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員を含み、臨時または非常勤職員を除いています。